

## 天声人語

いわゆる御三家の一つ、尾張徳川家はいまの東京都新宿区に東京ドーム10個分もの広大な庭園「戸山荘」を構えた。『すべて第一とすべし』。「すべて第一とすべし」。11代将軍家斉を感嘆させた▼造園には贅を尽くして天下の園池はまさにこの荘をもつて第一とすべし。池を掘って橋を架け、蛙や螢を放つ。残土を積んで山を築き、玉を伏せた形に整えて「玉円峰」と命名した。庄巻は小田原宿を模した一角。米屋、茶店、酒屋など三十数軒を並べ、將軍お成りとなれば売り子、籠かきもそろえた▼小寺武久著『尾張藩江戸下屋敷の謎』によると、入園が許されたのは武家のなかでも限られた者のみ。体裁を気にする武士たちも園内では認めを外した。武家専用のテーマパークである▼先日、権勢の跡を歩いてみたが、池や泉も礎石の跡もわからぬ。戸山荘は江戸末期に地震や大火で荒廃した。明治政府は屋敷跡を陸軍用地とする。戦後、一角が都立公園となつた▼玉円峰の名は忘れ去られたが、山はそのまま残つた。「私たちは箱根山と呼んできました。架空の小田原宿にちなんだ名です」と地元の町会連合会長、桑島裕武さん(78)は話す。愛着は深く、8年前に町内会で始めた行事にも「箱根山駅伝」と名を付けた。今年はあす4日に開かれる▼箱根山の標高は、わずか445m。「東京23区内最高峰」「無事に下山ください」。大仰な説明板につられて殿様気分に浸ろうとしたものの、栄華をしおぶよすがは見つけられなかつた。徳川の世が去つて151年目の春である。

2018・3・3